

線形代数学第 1 - 中間試験問題 -

情報システム工学科 1 年生 平成 19 年度前期 - 2007.5.16 -

1. 次のベクトル, 行列の計算を行え. 計算が不可能な場合は「計算不可」と答えること.

$$(a) \begin{bmatrix} 2 & 0 & -3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 \\ 4 \\ -1 \end{bmatrix} \quad (b) \begin{bmatrix} 5 \\ -2 \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 3 & -5 \end{bmatrix} \quad (c) \begin{bmatrix} 2 & 0 & -1 \\ 0 & -1 & 2 \\ -1 & 2 & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & -2 \\ 2 & 1 \\ -1 & 0 \end{bmatrix}$$
$$(d) \begin{bmatrix} 4 & -5 \\ -3 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} -1 & 2 & 0 \\ 3 & -5 & 2 \\ 2 & -3 & 4 \end{bmatrix} \quad (e) \begin{bmatrix} 3 & 2 & -1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} -1 & 1 \\ 2 & -1 \\ 3 & -2 \end{bmatrix} \quad (f) \begin{bmatrix} -2 \\ 3 \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 3 \\ -1 \\ 2 \end{bmatrix}$$

2. 次の行列 A と交換可能な行列 B を求めよ. また, そのときの AB を求めよ. 但し, $B = A, I$ は自明であるので, これら以外の行列を求めること.

$$A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 1 \end{bmatrix}$$

3. 次式を満たす 2×2 行列の例を求めよ.

(a) $A^2 = -I$

(b) $B^2 = 0, \quad B \neq 0$

4. 次の行列を LDU に分解せよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 1 & 0 \\ -2 & 1 & -1 \\ -1 & 1 & 3 \end{bmatrix}$$

5. 次の行列の逆行列を *Gauss-Jordan* 法により求めよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 \\ 2 & 0 & -1 \\ 3 & -1 & 1 \end{bmatrix}$$

6. 次の行列 A の逆行列は存在するか. 「逆行列は存在する」又は「逆行列は存在しない」と答え, その理由を示せ. 但し, 逆行列を求める必要はない. (ヒント) 行列 A は「ある行の何倍かをある行に足す(引く)」ことにより, 単位行列 I に変換できるとき, 逆行列を持つ. A をガウスの前進消去で上三角行列に変形したとき, 要素が全て零となる行が生じる場合は, I に変換できない. また, A において, ある行が他の(複数の)行を何倍かして(足すことにより)求まるとき, 逆行列は存在しない.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -2 & 1 \\ 1 & 2 & -3 \\ 0 & 2 & -2 \end{bmatrix}$$

7. 次の条件を満たす 2 元連立方程式の例を与え, このような解を持つことを示せ.

(a) 唯一組の解を持つ.

(b) 無限に多くの解を持つ.

(c) 解を持たない.

8. A の列ベクトルを a_1, a_2, a_3 とするとき, AB の第 1 列は $\alpha_1 a_1 + \alpha_2 a_2 + \alpha_3 a_3 \cdots (1)$ として表すことができる. 次の例を用いて式 (1) (の α_i と a_i) を具体的な数値で表せ. また, 式 (1) から計算されるベクトルが AB の第 1 列と等しくなることを示せ.

$$A = \begin{bmatrix} 2 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & 1 \end{bmatrix} \quad B = \begin{bmatrix} 1 & -2 \\ -2 & 1 \\ 3 & 0 \end{bmatrix}$$